

県道川根寸又峡線(川根本町奥泉)の 道路拡幅計画“ワークショップ”を開催 しました！

県道川根寸又峡線の川根本町奥泉～大間地区約8km間は、全国的に有名な観光地である「寸又峡温泉」にアクセスする唯一の道路ですが、普通車のすれ違いさえも困難な狭隘区間が多く残っています。

県では、平成23年度に関係地区住民や路線バス事業者などと協働で、今後の整備の進め方について話し合いを行い、局所的な改良の推進を基本とする整備方針を策定しました。

今年度、この整備方針で最も優先順位が高いとされた区間について、「事業着手準備制度」を活用し、道路をどのように広げていったら良いか、地域の皆様とワークショップを開催し、意見交換を実施しています。

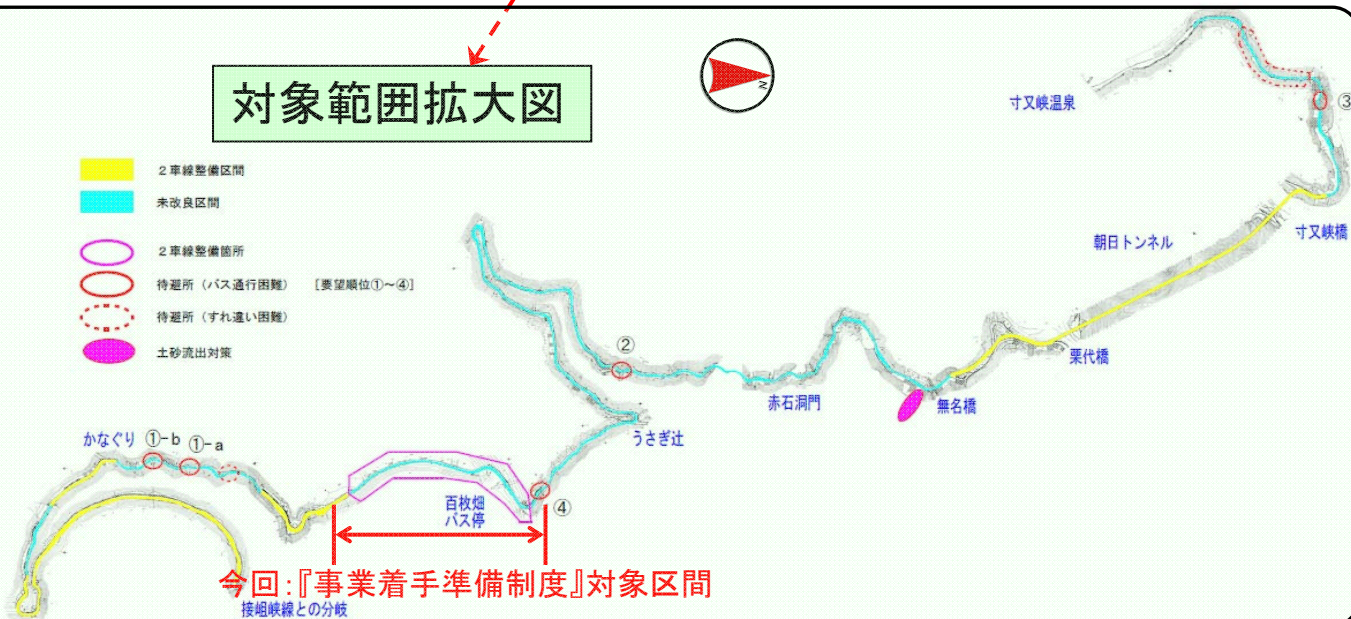
位置図



このように川根寸又峡線にはすれ違いが困難な箇所が多く残っています。

対象範囲拡大図

- 2車線整備区間
- 未改良区間
- 2車線整備箇所
- 待避所 (バス通行困難) [要望順位①～④]
- 待避所 (すれ違い困難)
- 土砂流出対策



ワークショップの様子

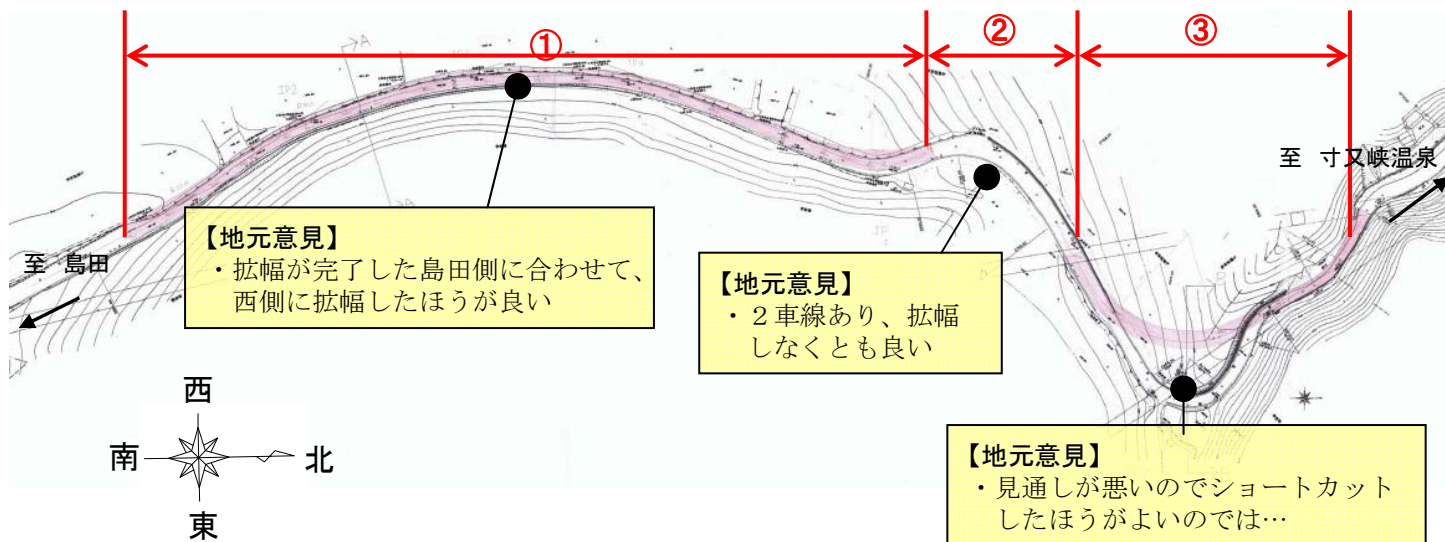
現地の走行動画を見ながら、意見交換



図面を広げて、問題点や計画について意見交換



ワークショップでの地元意見



【 ～ 耳より情報！！ ～ 】

川根寸又峡線ではソフト対策として『対向車接近表示システム』を導入し、期間を要する拡幅工事（ハード対策）を補っています！

※対向車接近表示システムとは・・・車のすれ違いが困難な箇所に対向車の存在を知らせるシステムです

